

令和 6 年 度

設 計 書（ 見 積 参 考 ）

役 務 名 屯田川ポンプゲート開閉装置ほか修繕業務

本設計書は、委託者の実施計画に基づき作成した設計書の一部を、見積もり策定の参考として提示するもので、契約上これを拘束するものではありません。

令和 6年 5月単価適用

札幌市下水道河川局事業推進部

屯田川ポンプゲート開閉装置ほか修繕業務

内 訳	業務委託費	円
	業務価格	円
	消費税等相当額	円

名 称	形 質	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	代 価 番 号 単 算 番 号
機 械 設 備 工	開閉機電動機取替	式	1				
							機械設備工内訳書
電 気 設 備 工	開度計ほか取替	式	1				
							電気設備工内訳書
計 (業 務 価 格)							
消費税等相当額		式	1			10%	
合 計 (業務委託費)							

機械設備工 内訳書

一金 円也

国土交通省機械設備工事積算基準 令和5年度

名称	形質	単位	数量	単価	金額	摘要
直接業務費	据付労務費	式	1			第1-1号内訳書
	据付補助材料費	式	1			据付労務費 ×1.5% (小型水門)
計 (直接業務費)						
共通仮設費		式	1			第1-2号内訳書
計 (純業務費)						
現場管理費		式	1			第1-2号内訳書
据付間接費		式	1			第1-2号内訳書
据付業務原価						
機器単体費		式	1			第1-3号内訳書
設計技術費		式	1			第1-2号内訳書
計 (業務原価)						
一般管理費等		式	1			第1-2号内訳書
一般管理費等 (再計)						(万止調整)
計 (業務価格)						

第1-1号内訳書

一金 円也

内 訳 書

名 称	形 質	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
機械設備据付工		人				機械設備 歩掛算出調書No.3 (据付間接費対象)
設 備 機 械 工		人				機械設備 歩掛算出調書No.3
普 通 作 業 員		人				機械設備 歩掛算出調書No.3
計						

第1-2号内訳書

国土交通省機械設備工事積算基準（R5年度版）による

名 称	積 算 計 算	金 額
共通仮設費	(率計上分)	
	X1(対象額) = (直接業務費 + 支給品 + 準備費に含まれる処分費 - 処分費等減額分)	
	支給品、準備費に含まれる処分費及び処分費等減額分は対象なし	
	共通仮設費率 (Y%) : (水門設備)	
	X1対象額 = 直接業務費 = 円	
	Y = % (X1が3,000千円以下の場合、定率)	
	地域補正係数: 補正なし =	
	Y1: 補正後共通仮設費率 = Y × 補正係数 = %	
	共通仮設費 = X1(対象額) × Y1 = 円	
	(積上げ分)	
	機械設備 歩掛算出調書No.4	
	交通誘導員B = 人 × 円/人 = 円	
	共通仮設費計 = (定率分) + (積上げ分) = 円 再計 (千円止) = 円	円
現場管理費	X2(対象額) = (直接業務費 + 共通仮設費 + 支給品 - 処分費等減額分(c))	
	支給品、処分費等減額分は対象なし	
	現場管理費率 (Y%) : (水門設備)	
	X2(対象額) = 純業務費 = 円	
	Y = % (X2が3,000千円以下の場合、定率)	
	地域補正係数: 補正なし =	
	Y2: 補正後現場管理費率 = Y × 補正係数 = %	
	現場管理費計 = X2(対象額) × Y2 = 円	
	再計 (千円止) = 円	円
据付間接費	X3(対象額) = (機械設備据付工の労務費)	
	据付間接費率 (Y3%) : 小型水門設備(維持修繕)	
	X3(対象額) = 円	
	Y3 = % (定率)	
	据付間接費計 = X3(対象額) × Y3 = 円 再計 (千円止) = 円	円
設計技術費	X4(対象額) = (機器単体費 + 据付業務原価 + 支給品 - 処分費等(a+b))	
	支給品、処分費等は対象なし	
	設計技術費率 (Y4%) : (小型水門設備)	
	X4(対象額) = + = 円	
	Y4 = % (対象額が5,000千円以下の場合、定率)	
	設計技術費計 = X4(対象額) × Y4 = 円 再計 (千円止) = 円	円
一般管理費等	X5(対象額) = (業務原価 - 処分費等減額分(c))	
	標準一般管理費等率 (Y%) : (小型水門設備)	
	X5(対象額) = 業務原価 = 円	
	Y = % (対象額が5,000千円以下の場合、定率)	
	前払金支出割合補正係数	
	補正係数 = (支出割合区分: 0~5%以下の場合)	
	機器費補正係数 = 1 - (業務原価に占める機器単体費の率/1.25)	
	機器費補正係数 =	
	一般管理費等率 (Y5%) = Y × 補正係数 × 機器費補正係数 = %	
	一般管理費等費計 = X5(対象額) × Y5 = 円	
	再計 (円未満切捨て) = 円	円
		円

札幌市

第1-3号内訳書

一金 円也

実勢価格調査単価については、下水道河川局庁舎1階閲覧室にて公表
内 訳 書

名 称	形 質	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
No.1開閉機用 電動機	0.39kw AC 200V	個	1			実勢価格 調査単価
計						

[illegible]

電気設備工内訳書 一金円也						
名称	形質	単位	数量	単価	金額	摘要
直接業務費	材料費	式	1			第2-1号内訳書
	労務費	式	1			第2-2号内訳書
計 (直接業務費)						
共通仮設費		式	1			第2-3号内訳書
計 (純業務費)						
現場管理費		式	1			第2-3号内訳書
計 (業務原価)						
一般管理費等		式	1			第2-3号内訳書
一般管理費等 (再計)						(万円止調整)
計 (電気設備業務価格)						

書 訳 内

[illegible]

札幌市

第2-2号内訳書

一金 円也

内 訳 書

名 称	形 質	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電気通信技術員	計器類取替、調整 (盤内作業ほか)	人				電気設備 歩掛算出調書
電工	計器類取替、調整 (盤内作業ほか)	人				電気設備 歩掛算出調書
計						

第2-3号内訳書

-土木工事標準積算基準書(共通編) 国土交通省-

名 称	積 算 計 算	金 額
共通仮設費	(率計上分)	
	共通仮設費率 (Y%) : 工種区分(河川維持工事)	
	X1(対象額) = 直接業務費 = 円	
	Y = %	
	地域補正係数: 補正なし(1.0)	
	Y1: 補正後共通仮設費率=Y×補正係数= %	
	共通仮設費=X1(対象額)×Y1= 円	
	(積上げ分)	
	対象なし	
	共通仮設費計= (定率分) + (積上げ分) =	
	再計 (千円未満切捨て) = 円	
		円
現場管理費	現場管理費率 (Y%) : 工種区分 (河川維持工事)	
	X2(対象額) = 純業務費 = 円	
	Y = % (X2が2,000千円以下)	
	地域補正係数: 補正なし(1.0)	
	Y2: 補正後現場管理費率=Y×補正係数= %	
	現場管理費計=X2(対象額)×Y2= 円	
	再計 (千円未満切捨て) = 円	
		円
一般管理費等	標準一般管理費等率 (Y%)	
	X3(対象額) = 業務原価 = 円	
	Y = %	
	前払金支出割合補正係数	
	補正係数= (支出割合区分: 0~5%以下)	
	契約保証に係る補正值: 補正しない	
	Y3: 補正後一般管理費等率=Y×補正係数+補正值= %	
	一般管理費等費計=X3(対象額)×Y3= 円	
	再計 (円未満切捨て) = 円	
	円	

電気設備 歩掛算出調書 -土木工事標準積算基準書(電気通信編) 国土交通省-

No	細 目	数 量	積 算 の 基 礎	備 考
1 (1)	No.1開閉機電動機 0.39kw AC200V (取付別途) 電力ケーブル接続	1 カ所	電工 人 / カ所 × 1 = 人	電Ⅷ-2-7 表3-5 電力ケーブル接続 8mm2×3C以下 (低圧)
1 (2)	No.1開閉機電動機 0.39kw AC200V (離線) 電力ケーブル接続	1 カ所	電工 人 / カ所 × 1 = 人 ※ケーブル再使用する離線	電Ⅷ-2-7 表3-5 電力ケーブル接続 (低圧) 電Ⅷ-1-1 2-(3)
2 (1)	No.2電動開閉装置 開度指示計 セルシン発信器 取付	1 個	電気通信技術員 人 / 個 × 1 = 人	電Ⅷ-5-5 表3-1 機側伝送装置 (ケーブル接続含)
2 (2)	No.2電動開閉装置 開度指示計 セルシン発信器 撤去	1 個	電気通信技術員 人 / 個 × 1 = 人 ※再使用しない撤去	電Ⅷ-5-5 表3-1 機側伝送装置 (ケーブル接続含) 電Ⅷ-1-1 2-(3)
3 (1)	No.2電動開閉装置 開度指示計 セルシン受信器 取付	1 個	電気通信技術員 人 / 個 × 1 = 人	電Ⅷ-5-5 表3-1 機側伝送装置 (ケーブル接続含)
3 (2)	No.2電動開閉装置 開度指示計 セルシン受信器 撤去	1 個	電気通信技術員 人 / 個 × 1 = 人 ※再使用しない撤去	電Ⅷ-5-5 表3-1 機側伝送装置 (ケーブル接続含) 電Ⅷ-1-1 2-(3)
4 (1)	端子台 4P 30A レール取付用 取付	1 カ所	電工 人 / カ所 × 1 = 人	電Ⅷ-2-9 表3-2 ダクター取付 1.5人/10個
4 (2)	端子台 4P 30A レール取付用 撤去	1 カ所	電工 人 / カ所 × 1 = 人 ※再使用しない撤去	電Ⅷ-2-9 表3-2 ダクター取付 電Ⅷ-1-1 2-(3)
5 (1)	端子台ケーブル (5.5mm2-2C) 接続	2 カ所	電工 人 / カ所 × 2 = 人	電Ⅷ-2-7 表3-5 電力ケーブル接続 8mm2×3C以下 ※2Cは0.8掛け
5 (2)	端子台ケーブル (5.5mm2-2C) 離線	2 カ所	電工 人 / カ所 × 2 = 人 ※ケーブル再使用する離線	電Ⅷ-2-7 表3-5 電力ケーブル接続 ※2Cは0.8掛け 電Ⅷ-1-1 2-(3)
5 (3)	端子台ケーブル (1.25mm2-2C) 接続	2 カ所	電工 人 / カ所 × 2 = 人	電Ⅷ-2-7 表3-5 電力ケーブル接続 8mm2×3C以下 ※2Cは0.8掛け
5 (4)	端子台ケーブル (1.25mm2-2C) 離線	2 カ所	電工 人 / カ所 × 2 = 人 ※ケーブル再使用する離線	電Ⅷ-2-7 表3-5 電力ケーブル接続 ※2Cは0.8掛け 電Ⅷ-1-1 2-(3)
計	電工	人		人
	電気通信技術員	人		人